

# 保護司会会報

発行 西多摩地区保護司会 会長 原島 悟 編集 西多摩地区保護司会 広報部 発行日 令和3年11月15日



奥多摩 むかし道 いろは楓 奥多摩分区：小峰保護司(撮影)



東京保護觀察所立川支部  
統括保護觀察官  
**小嶋 忠志**

本年4月、甲府保護觀察所から転任してまいりました。立川支部での勤務は3回目となります。

前2回、立川支部に勤務した際は、平成21年度、29年度、30年度とご縁があり、西多摩地区主任官としてご担当させて頂きました。この時、語り尽くせない程の思い出を沢山頂きましたので、こうして

既に更生保護制度が施行され、70年が経過しています。再犯防止に関する対策等制度も整えられています。制度は整つたことは言え、犯罪や非行のない明るい社会を実現するためには、更生保護における活動の大きな原動力である、人と人とのつながりを大切にすることが一

皆さま方にご挨拶出来る機会を頂けたことを大変嬉しく思っています。

今回は、主任官という立場を離れ、保護司組織、関係機関や研修等を所管する統括保護觀察官として、保護司や地域の皆様のお役に立つことができますよう務めさせて頂きます。ご支援、ご指導を賜りますよう、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

皆さま方にご挨拶出来る機会を頂けたことを大変嬉しく思っています。

今回は、主任官という立場を離れ、保護司組織、関係機関や研修等を所管する統括保護觀察官として、保護司や地域の皆様のお役に立つことができますよう務めさせて頂きます。ご支援、ご指導を賜りますよう、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

皆さま方にご挨拶出来る機会を頂けたことを大変嬉しく思っています。

今回は、主任官という立場を離れ、保護司組織、関係機関や研修等を所管する統括保護觀察官として、保護司や地域の皆様のお役に立つことができますよう務めさせて頂きます。ご支援、ご指導を賜りますよう、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 目 次

・就任のご挨拶 統括保護觀察官 小嶋忠志	1
・第71回「社会を明るくする運動」	2～3
・令和3年度第六ブロック保護司組織運営協議会	4
・瑞寶雙光章受章の挨拶 岸野穣	5
・藍綬褒章受章の挨拶 田村祥子	5
・東京2020オリンピック聖火セレモニー観覧	5
・会務報告	6

# 第71回 社会を明るくする運動八分区活動報告



青梅市立西中学校への訪問

○青梅分区長 川杉 英治

## 青梅分区の新たな取組み

今年で七十一回目を迎えた社会を明るくする運動。法務省が主唱する全国的な運動にもかかわらず一般には知られておりません。そこで私達は市内十一中学校の生徒三千二百六十五名と、その教職員を対象とした広報を企画しました。まず中学校長会の会長を訪ね趣旨を説明し了解を得ました。

校内放送用のCDには、社会を明るくする運動の趣旨と保護司の説明、内閣総理大臣と東京都知事からのメッセージを録音しました。幸い青梅分区には音響とPCに精通した女性

保護司が居て、CDの録音作成をしてくれました。

明け6月25日に行うこととし再度規制が出ると中止となるという前提はありましたが推進委員会を昨年同様の内容で行うこととしました。市民会館スタッフとの打ち合せも済み推進委員会当日を待つばかりでしたが「今年こそは」との思いは実現できませんでした。

九月に入り各校の担当者が電話で校長先生に謝意を伝え、生徒・教職員の反応を尋ねた結果は概ね良で、更女の方々が手作りした三千三百枚の栢人形が人気だったそうです。

この様にコロナ禍で非接触を前提としたわが分区の新たな取組みは成功したと思います。

校長先生をはじめとする各校の教職員の皆様。数多くの栢人形を手作りして下さった更生保護女性会の皆様。そして青梅分区の保護司の皆様の御協力に感謝申し上げます。

○福生分区長 竹田 良昭

「今年こそは」との思いで6月3日、第71回社明運動準備会が始まりました。昨年度は社明運動が70回、福生市制50年と節目の年で推進委員会、記念講演会を初めて市民会館小ホールで計画しておりましたがコロ

ナウイルス感染拡大防止の為、取りやめとなりました。今年は規制期間

に駅頭での啓発を行うことができました。コロナ禍での厳しい状況下でした

がこれからの活動に光明となりえる今年の社明運動でした。



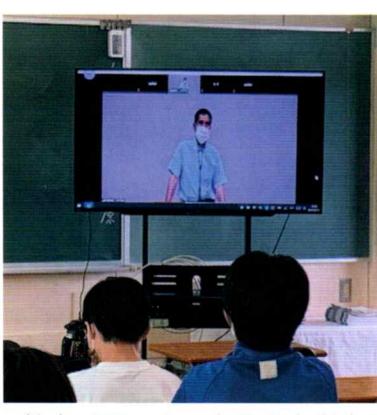
福生駅頭広報

○瑞穂分区長 原 隆寿

## 「デジタル技術の活用と展示広報」

本年の瑞穂分区における取組みの特徴です。

小・中学生に対しては、コロナ禍で閉塞感が蔓延する中、様々な我慢を強いられる子どもたちにメッセージを配布するとともに、中学生には、オンラインを活用した呼びかけを行いました。また、役場庁舎や公共施設のロビーを利用して、ポスターやチラシ、保護司の活動紹介などを集約した展示型の啓発広報にも取り組んできました。



教室でモニターを見る中学生

七十余年の歴史を持つ社明運動ですが、マンネリ化や運動の広がりに陰りが見られるなど、課題も少なく

ありません。さらに、地域社会で保護司の認知度を深めていくことも決して容易ではありません。

コロナ禍での創意工夫を一過性のものとせず、今後の活動に活かしていくことも必要だと思います。変化に対応できこそ社明運動の未来も見えてくるのではないでしょか。

### ○羽村分区長 指田 勇

この度倉持さんの後任として羽村分区長を拝命しました指田と申します。宜しくお願い致します。

4月28日に地域活動部員による事前打ち合わせを行いました。  
5月24日に役員会を開催、駅頭広報活動、市内学校訪問、社明運動羽村市大会の中止が決まりました。  
6月7日に羽村市推進委員長橋本市長から実施方針が示されました。  
6月25日に正副分区長が市長室において、橋本新市長に社明運動、伝達式を実施しました。

7月2日と6日に市内広報活動を実施しました。

今回の作文コンテストは小学校から104点、中学校から170点の応募があり、地域活動部員、正副分区が分担して絞込みを行い、各人が優秀作品5部以内を選抜して、9月6日市役所において正副分区長、地域活動部員により厳正な審査を経て、羽村市の代表作品として小学生、中

学生各6点の作文を選出し東京都に送付しました。一作品でも多く入選しますように願っています。

東京都は各地区推進委員会から推薦のあつた作品について審査を行い、社明運動、東京都推進委員会委員長賞ほか優秀作品を選出し、12月上旬に結果発表、1月上旬に表彰式が行なわれます。

来年はコロナが収束し全ての社明運動が実施出来ますようにお祈り申し上げます。

### ○あきる野分区長 新井 俊數

第七十一回『社明運動』への取り組み

あきる野分区では、『社明運動』への取り組みは例年、校長会や自治会、民生・児童委員・更生保護女性会などへの協力要請から始まり、駅頭活動参加生徒への事前説明会、駅頭活動、産業祭での広報活動、講演会、活動報告・反省会へと続くのですが、今年度はコロナ禍のため市内全中高校に保護司が訪れ、①ポスター、リーフレット、趣旨説明資料の説明と配布 ②いじめ・不登校、非行少年等のたまり場などの地域環境、家庭環境やSNS・ゲーム脳などの日常課題等の情報交換 ③中学生への作文依頼 ④高等学校3校に対しても東京都民安全推進課の「非行少年・再犯防止支援ガイドブック」の説明・少年法の改正問題、などの情

報交換を行った。

市内高校3校、中学校7校のすべてで、校長・副校长、生活指導・生徒会担当の先生方が参加していただけに、中には情報交換に3時間以上かかる学校もありました。

非行防止等で保護司と学校との信頼関係を深め、健全育成への環境づくり等で連携を深めることができます。

来年度に向けて、

### ○日の出分区長 辻本 恵子

コロナ禍での社明運動に思う

日の出分区では親子ふれあいマス釣り大会を社明の一大イベントとして取り組んできた。これは町、更衣、青少健、PTA、学校、担当事務局等の協力なくしては行うことはできない。親子で釣りを楽しみ、更衣の皆さんのが手作り豚汁を頂く。町内の人々が一同に介し一日を過ごす。啓発活動にもなる貴重な時間を今後も続けていければと思う。

令和三年度もコロナ禍の中、6月9日に準備・推進委員会を開催し、「3密」等に考慮して活動計画を策定しました。

幟旗掲出は、観光駐車場、主な公共施設の野外に掲示するとともに、施設のPRコーナーに啓発ティッシュペーパーの配置を行いました。

村広報7月号に社明運動について掲載村内各世帯に配布しました。

その他、学校訪問はせず、学校関係職員を介して啓発グッズを小・中学生に配布してきました。

### ○檜原分区長 小林 悅雄

令和3年度もコロナ禍の中、6月9日に準備・推進委員会を開催し、「3密」等に考慮して活動計画を策定しました。

う上の注意事項等を説明しました。その後、町長へのメッセージ伝達、のぼり旗の設置、ポスターの掲示などを行いました。一日も早いコロナの収束を祈りつつ来年度に向けて。



檜原村役場前

# 令和三年度第六ブロック保護司組織運営連絡協議会について

## 保護司組織運営連絡協議会について

羽村分区 萩原 淳



第六ブロック保護司組織運営連絡協議会が十月二十日(水)十三時半から十五時まで、八王子地区の京王プラザホテルをホスト会場とし、各地区リモート協議会場をZOOMで結んで開催されました。西多摩地区の会場は、羽村市産業福祉センターでしたが、議事はオンラインでスムーズに進められました。これは、昨年度西多摩地区が当番地区として、初めてのリモート開催を切り開いた実績の上に行われたといえるでしょう。

今年は「保護司活動のICT化について」が全ブロック共通の協議題として年一回実施されるものです。

協議会当日に先立つて、各地区では意見検討会議を行い、意見書をまとめて他地区に送つて共通理解を図り、それらに対して質問書を出して、回答書を用意するという形で、事前の協議が進められました。西多摩地区では、第一回意見検討会議が八月三十一日にあける野市役所で行われ、取り纏め検討担当者が選ばれて、あきる野分区の森本氏、瑞穂分区の志村氏、奥多摩分区の小峰氏と羽村分区の萩原の四人が担当になりました。

協議員の皆さんのお見集約して西多摩地区的意見書をまとめ、九月十四日の第二回意見検討会議で確認しました。また、各文書をまとめていくまでの協議は、メールで行うようにして、小さなICT化の努力を

東京都の地区保護司会は七つのブロックに分けられており、第六ブロックは、西多摩、八王子、町田、日野・多摩・稲城の四地区保護司会で構成されています。第六ブロック保護司組織運営連絡協議会は、東京保護観察所と東京都保護司会連合会の主催で、保護司組織の運営をテーマにして年一回実施されるものです。

3 保護司活動におけるICT化推進に向けた方策について  
(1) 上記「課題」を解決するための方策

(2) より効果的な導入推進のための推奨事項

という項目で構成されています。

西多摩地区保護司会としては、ブロック協議会を運営するリテラシーも機材も備えつつあるが、各分区でも機材も備えつつあるが、各分区でわって活動しているので違いが大きいが、地区全体としてのICT化はあまり進んでいない実態を述べました。また、課題としては、対象者との関係では、LINEなどのSNS利用がごく普通に行われるようになつたが、「友だち」情報の流出などもあり得るので注意が必要なことなどについて触れました。保護司会活動では、地区として実績もあるのでICT対応も進めていけるが、保護司個人が構成員になる会議等では、

してみました。  
意見書は、

1 保護司活動のICT導入の状況  
(1) 組織運営面での導入状況  
(2) 保護司活動での導入の試み  
(1) ICT導入による効果・利点  
(2) ICT導入時の課題





令和三年春の叙勲に際し、図らずも瑞寶雙光章受章の栄に浴しました。これは偏に皆様のご指導ご支援の賜と深く感謝申し上げます。ついでこの機会に十数年前、心に残ったある光景を紹介し、挨拶とさせて頂きます。散歩の途中、ふと目にした道端の看板に、『ゴミを捨てた方の不幸がありませんように合掌』と書かれていました。思わずスマホで写真を撮りました。

その日以来七十四歳の今日まで、この不思議な言葉は心に残り、「真心」と言う言葉が蘇りました。長年指導して下さった先輩諸氏からの、有形無形の教え、「対象者の更生を願い、真心を込めて真摯に向き合いなさい」と言う、同じ教示を懐いたからです。

また看板の言葉「合掌」には、「慈愛」と共に「厳しさ」もあり、私は知らず知らずの裡に、自分を律して来たようになります。今後この「真心」を糧に、保護司活動に精進してまいります。

最後になりましたが西多摩保護司会の益々のご発展と皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

令和三年春の叙勲に際し、図らずも瑞寶雙光章受章の栄に浴しました。これは偏に皆様のご指導ご支援の賜と深く感謝申し上げます。ついでこの機会に十数年前、心に残ったある光景を紹介し、挨拶とさせて頂きます。散歩の途中、ふと目にした道端の看板に、『ゴミを捨てた方の不幸がありませんように合掌』と書かれていました。思わずスマホで写真を撮りました。

その日以来七十四歳の今日まで、この不思

議な言葉は心に残り、「真心」と言う言葉が蘇りました。長年指導して下さった先輩諸氏

からの、有形無形の教え、「対象者の更生を

願い、真心を込めて真摯に向き合いなさい」と言う、同じ教示を懐いたからです。

また看板の言葉「合掌」には、「慈愛」と共に「厳しさ」もあり、私は知らず知らずの裡に、

自分を律して來たようになります。今後この「真心」を糧に、保護司活動に精進してまいります。

人生百年時代、これからもこの

榮譽に恥じぬよう努力してまいります。

最後になりましたが西多摩保護

司会の益々のご発展と皆様のご多

幸をお祈り申し上げます。



あきる野分区  
岸野 穩

## 瑞寶雙光章受章



福生分区  
田村 祥子

## 藍綬褒章受章



会長 原島 悟

羽村分区 中野修保護司が聖火ランナーに選ばれた。聖火のリレーは羽本市を走行予定だったが新型コロナウィルス感染防止のため公道に代えて七月十二日(月)にTACHIKAWA STAGE GARDENにて点火セレモニーが実施された。

ステージ上で各区間ごとに次の聖火ランナーへとトーチキスで行われた。

**東京2020オリンピック聖火セレモニー観覧**



# 会 務 報 告

令和3年11月15日

西多摩地区保護司会会報



辻内  
法隆  
(檜原分区)  
9月17日発令



高松みゆき  
(瑞穂分区)  
9月17日発令



森田  
一彦  
(あきる野分区)  
9月17日発令



鈴木  
早苗  
(瑞穂分区)  
9月17日発令



桑田  
和美  
(青梅分区)  
9月17日発令

左記の方が委嘱されました。  
今後のご活躍を期待いたします。



福島  
政夫  
(瑞穂分区)  
9月17日発令

## 退任保護司（敬称略）

長い間保護司活動へのご奉仕ありがとうございました。

（令和三年六月三十日付）  
田村 祥子（福生分区）  
(在職年数二十四年)

（令和三年九月十六日付）  
森田 一彦（あきる野分区）  
(在職年数十五年)

初の時とは目の輝きが大きく異なり研修部役員もこれから一緒に活動する仲間に對し、滴り落ちる汗とともに歓喜の眼差しを注いでいた。参加した誰もが心も身体も熱くなつた一日であった。

夏の暑い最中、会長はじめ研修部役員と新任保護司で実施した。本来であれば東京保護観察所での合同研修がなされたはずであるが、新型コロナウイルス感染拡大により分散での実施となつた。委嘱後は新任の保護司となつても書類を頼りに試行錯誤の繰り返しの様で先任保護司に様々な質問がなされ参加者一同ただでさえ暑いのに全員大汗をかきながら、真剣に問答を繰り返し充実した時間を過ごす事が出来た。新任の保護司は、最初の時とは目の輝きが大きく異なり研修部役員もこれから一緒に活動する仲間に對し、滴り落ちる汗とともに歓喜の眼差しを注いでいた。参加した誰もが心も身体も熱くなつた一日であった。



## 第一回新任保護司研修会

研修部 平田みつ枝

西多摩地区の新任保護司研修を夏の暑い最中、会長はじめ研修部役員と新任保護司で実施した。本来であれば東京保護観察所での合同研修がなされたはずであるが、新型コロナウイルス感染拡大により分散での実施となつた。委嘱後は新任の保護司となつても書類を頼りに試行錯誤の繰り返しの様で先任保護司に様々な質問がなされ参加者一同ただでさえ暑いのに全員大汗をかきながら、真剣に問答を繰り返し充実した時間を過ごす事が出来た。新任の保護司は、最初の時とは目の輝きが大きく異なり研修部役員もこれから一緒に活動する仲間に對し、滴り落ちる汗とともに歓喜の眼差しを注いでいた。参加した誰もが心も身体も熱くなつた一日であった。

今年の夏もコロナ感染症が収まる気配もなく、緊急事態宣言も発令が続き、家族での行楽が制限されるなど残念な夏休みだったと思います。そんな中で東京オリンピックがほぼ無観客で開催されました。私も聖火リレーのボランティアに応募し、協力できればとの思いでしたが、直前に中止となり残念でした。

## 編集後記

### 地域活動推進講演会

日時 令和4年2月1日(火)  
場所 秋川キララホール  
時間 受付開始午後1時15分  
午後2時～4時  
講師 特定非営利活動法人BONDプロジェクト代表  
橋 ジュン氏

西多摩地区の保護司会活動を細かくお伝えできない事をお詫びするとともに残念に思います。

広報部

木下 義彦